

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成24年9月13日(2012.9.13)

【公開番号】特開2011-250383(P2011-250383A)

【公開日】平成23年12月8日(2011.12.8)

【年通号数】公開・登録公報2011-049

【出願番号】特願2010-136578(P2010-136578)

【国際特許分類】

H 0 4 N 7/15 (2006.01)

H 0 4 M 3/56 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 7/15 6 1 0

H 0 4 M 3/56 C

【手続補正書】

【提出日】平成24年8月1日(2012.8.1)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ウェブ会議を開催する処理を行うサーバと、ウェブ会議の参加者が操作する情報処理装置とがネットワークを介して接続されるウェブ会議システムであって、

前記サーバは、

予め定められた所定のイベントが発生した場合、ウェブ会議で利用されるデータの送受信を行う複数の通信回線それぞれの回線品質を前記情報処理装置において調整させるため、当該複数の通信回線それぞれの回線品質を調整可能な定義がなされた設定ファイルを登録する第一の登録手段と、

前記第一の登録手段により前記設定ファイルが登録されたウェブ会議への参加要求を行った情報処理装置に対して、ウェブ会議の画面情報と、当該ウェブ会議に登録された前記設定ファイルとを送信する送信手段と、

前記所定のイベントであって、前記ウェブ会議で利用されるデータの送受信を行う複数の通信回線それぞれの回線品質を調整すべきイベントを検知する検知手段と、

前記検知手段により前記イベントが検知されたことに応じて、ウェブ会議に参加している情報処理装置に対して当該イベントを通知する通知手段とを有し、

前記情報処理装置は、

ウェブ会議の参加者の操作に従って、ウェブ会議への参加要求を行う参加要求手段と、

前記送信手段により送信される、前記ウェブ会議の画面情報と、前記設定ファイルとを受信する受信手段と、

前記通知手段により通知された前記イベントを取得するイベント取得手段と、

前記イベント取得手段により取得されたイベントの内容に応じて、前記受信手段により受信された設定ファイルを用いて、前記ウェブ会議で利用されるデータの送受信を行う複数の通信回線それぞれの回線品質を調整する制御を行う制御手段と

を有するウェブ会議システムであり、

複数の前記情報処理装置がそれぞれの前記制御手段により回線品質を調整する制御を行うことを特徴とするウェブ会議システム。

【請求項2】

前記検出手段が検出する回線品質を調整すべきイベントは、前記ウェブ会議への参加者の数が増加もしくは減少したとのイベントであることを特徴とする請求項1に記載のウェブ会議システム。

【請求項3】

前記検出手段が検出する通信品質を調整すべきイベントは、前記ウェブ会議に参加している参加者が操作する情報処理装置の間でアプリケーションの共有が開始もしくは終了したとのイベントであることを特徴とする請求項1または2に記載のウェブ会議システム。

【請求項4】

議長のみが発言可能な議長モードでのウェブ会議において、前記検出手段が検出する通信品質を調整すべきイベントは、前記ウェブ会議に参加している議長以外の参加者への発言を許可する旨のイベントであることを特徴とする請求項1ないし3のいずれか1項に記載のウェブ会議システム。

【請求項5】

議長のみが発言可能な議長モードでのウェブ会議において、前記検出手段が検出する通信品質を調整すべきイベントは、前記ウェブ会議に参加している議長が他の参加者に交代する旨のイベントであることを特徴とする請求項1ないし4のいずれか1項に記載のウェブ会議システム。

【請求項6】

前記検出手段が検出する通信品質を調整すべきイベントは、前記ウェブ会議を傍聴している傍聴者が当該ウェブ会議に参加する旨のイベントであることを特徴とする請求項1ないし5のいずれか1項に記載のウェブ会議システム。

【請求項7】

前記検出手段が検出する通信品質を調整すべきイベントは、前記ウェブ会議に参加している参加者が操作する情報処理装置に表示されるウィンドウサイズが変更した旨のイベントであることを特徴とする請求項1ないし6のいずれか1項に記載のウェブ会議システム。

【請求項8】

所定の参加者の発言が制限されるウェブ会議において、前記検出手段が検出する通信品質を調整すべきイベントは、前記ウェブ会議に参加している発言が制限されている参加者が発言可能となったとの旨のイベントであることを特徴とする請求項1ないし7のいずれか1項に記載のウェブ会議システム。

【請求項9】

前記制御手段は、データの送受信を行う複数の通信回線のうち、映像、アプリケーション、音声の順に品質を落とすことにより回線品質を調整することを特徴とする請求項1乃至8のいずれか1項に記載のウェブ会議システム。

【請求項10】

ウェブ会議を開催する処理を行うサーバと、ウェブ会議の参加者が操作する情報処理装置とがネットワークを介して接続されるウェブ会議システムにおける制御方法であって、前記サーバは、

予め定められた所定のイベントが発生した場合、ウェブ会議で利用されるデータの送受信を行う複数の通信回線それぞれの回線品質を前記情報処理装置において調整させるため、当該複数の通信回線それぞれの回線品質を調整可能な定義がなされた設定ファイルを登録する第一の登録ステップと、

前記第一の登録ステップにより前記設定ファイルが登録されたウェブ会議への参加要求を行った情報処理装置に対して、ウェブ会議の画面情報と、当該ウェブ会議に登録された前記設定ファイルとを送信する送信ステップと、

前記所定のイベントであって、前記ウェブ会議で利用されるデータの送受信を行う複数の通信回線それぞれの回線品質を調整すべきイベントを検知する検知ステップと、

前記検知ステップにより前記イベントが検知されたことに応じて、ウェブ会議に参加している情報処理装置に対して当該イベントを通知する通知ステップとを含み、

前記情報処理装置は、  
ウェブ会議の参加者の操作に従って、ウェブ会議への参加要求を行う参加要求ステップと、  
前記送信ステップにより送信される、前記ウェブ会議の画面情報と、前記設定ファイルとを受信する受信ステップと、  
前記通知ステップにより通知された前記イベントを取得するイベント取得ステップと、  
前記イベント取得ステップにより取得されたイベントの内容に応じて、前記受信ステップにより受信された設定ファイルを用いて、前記ウェブ会議で利用されるデータの送受信を行う複数の通信回線それぞれの回線品質を調整する制御を行う制御ステップと  
を含む制御方法であり、  
複数の前記情報処理装置がそれぞれの前記制御ステップにより回線品質を調整する制御を行うことを特徴とする制御方法。

**【請求項 1 1】**

ウェブ会議を開催する処理を行うサーバと、ウェブ会議の参加者が操作する情報処理装置とがネットワークを介して接続されるウェブ会議システムにおいて実行可能なプログラムであって、  
前記サーバを、  
予め定められた所定のイベントが発生した場合、ウェブ会議で利用されるデータの送受信を行う複数の通信回線それぞれの回線品質を前記情報処理装置において調整させるため、当該複数の通信回線それぞれの回線品質を調整可能な定義がなされた設定ファイルを登録する第一の登録手段、  
前記第一の登録手段により前記設定ファイルが登録されたウェブ会議への参加要求を行った情報処理装置に対して、ウェブ会議の画面情報と、当該ウェブ会議に登録された前記設定ファイルとを送信する送信手段、  
前記所定のイベントであって、前記ウェブ会議で利用されるデータの送受信を行う複数の通信回線それぞれの回線品質を調整すべきイベントを検知する検知手段、  
前記検知手段により前記イベントが検知されたことに応じて、ウェブ会議に参加している情報処理装置に対して当該イベントを通知する通知手段として機能させ、  
前記情報処理装置を、  
ウェブ会議の参加者の操作に従って、ウェブ会議への参加要求を行う参加要求手段、  
前記送信手段により送信される、前記ウェブ会議の画面情報と、前記設定ファイルとを受信する受信手段、  
前記通知手段により通知された前記イベントを取得するイベント取得手段、  
前記イベント取得手段により取得されたイベントの内容に応じて、前記受信手段により受信された設定ファイルを用いて、前記ウェブ会議で利用されるデータの送受信を行う複数の通信回線それぞれの回線品質を調整する制御を行う制御手段  
として機能させるプログラムであり、  
複数の前記情報処理装置がそれぞれの前記制御手段により回線品質を調整する制御を行うことを特徴とするプログラム。

**【請求項 1 2】**

予め定められた所定のイベントが発生した場合、ウェブ会議で利用されるデータの送受信を行う複数の通信回線それぞれの回線品質を前記情報処理装置において調整させるため、当該複数の通信回線それぞれの回線品質を調整可能な定義がなされた設定ファイルを登録する第一の登録手段と、前記第一の登録手段により前記設定ファイルが登録されたウェブ会議への参加要求を行った情報処理装置に対して、ウェブ会議の画面情報と、当該ウェブ会議に登録された前記設定ファイルとを送信する送信手段と、前記所定のイベントであって、前記ウェブ会議で利用されるデータの送受信を行う複数の通信回線それぞれの回線品質を調整すべきイベントを検知する検知手段と、前記検知手段により前記イベントが検知されたことに応じて、ウェブ会議に参加している情報処理装置に対して当該イベントを通知する通知手段とを有するウェブ会議を開催する処理を行うサーバと通信可能な、ウェブ

ブ会議の参加者が操作する情報処理装置であって、

ウェブ会議の参加者の操作に従って、ウェブ会議への参加要求を行う参加要求手段と、前記送信手段により送信される、前記ウェブ会議の画面情報と、前記設定ファイルとを受信する受信手段と、

前記通知手段により通知された前記イベントを取得するイベント取得手段と、

前記イベント取得手段により取得されたイベントの内容に応じて、前記受信手段により受信された設定ファイルを用いて、前記ウェブ会議で利用されるデータの送受信を行う複数の通信回線それぞれの回線品質を調整する制御を行う制御手段とを有することを特徴とする情報処理装置。

**【請求項 13】**

予め定められた所定のイベントが発生した場合、ウェブ会議で利用されるデータの送受信を行う複数の通信回線それぞれの回線品質を前記情報処理装置において調整させるため、当該複数の通信回線それぞれの回線品質を調整可能な定義がなされた設定ファイルを登録する第一の登録手段と、前記第一の登録手段により前記設定ファイルが登録されたウェブ会議への参加要求を行った情報処理装置に対して、ウェブ会議の画面情報と、当該ウェブ会議に登録された前記設定ファイルとを送信する送信手段と、前記所定のイベントであって、前記ウェブ会議で利用されるデータの送受信を行う複数の通信回線それぞれの回線品質を調整すべきイベントを検知する検知手段と、前記検知手段により前記イベントが検知されたことに応じて、ウェブ会議に参加している情報処理装置に対して当該イベントを通知する通知手段とを有するウェブ会議を開催する処理を行うサーバと通信可能な、ウェブ会議の参加者が操作する情報処理における制御方法であって、

ウェブ会議の参加者の操作に従って、ウェブ会議への参加要求を行う参加要求ステップと、

前記送信手段により送信される、前記ウェブ会議の画面情報と、前記設定ファイルとを受信する受信ステップと、

前記通知手段により通知された前記イベントを取得するイベント取得ステップと、

前記イベント取得手段により取得されたイベントの内容に応じて、前記受信ステップにより受信された設定ファイルを用いて、前記ウェブ会議で利用されるデータの送受信を行う複数の通信回線それぞれの回線品質を調整する制御を行う制御ステップとを含むことを特徴とする制御方法。

**【請求項 14】**

予め定められた所定のイベントが発生した場合、ウェブ会議で利用されるデータの送受信を行う複数の通信回線それぞれの回線品質を前記情報処理装置において調整させるため、当該複数の通信回線それぞれの回線品質を調整可能な定義がなされた設定ファイルを登録する第一の登録手段と、前記第一の登録手段により前記設定ファイルが登録されたウェブ会議への参加要求を行った情報処理装置に対して、ウェブ会議の画面情報と、当該ウェブ会議に登録された前記設定ファイルとを送信する送信手段と、前記所定のイベントであって、前記ウェブ会議で利用されるデータの送受信を行う複数の通信回線それぞれの回線品質を調整すべきイベントを検知する検知手段と、前記検知手段により前記イベントが検知されたことに応じて、ウェブ会議に参加している情報処理装置に対して当該イベントを通知する通知手段とを有するウェブ会議を開催する処理を行うサーバと通信可能な、ウェブ会議の参加者が操作する情報処理装置において実行可能なプログラムであって、

ウェブ会議の参加者の操作に従って、ウェブ会議への参加要求を行う参加要求手段、

前記送信手段により送信される、前記ウェブ会議の画面情報と、前記設定ファイルとを受信する受信手段、

前記通知手段により通知された前記イベントを取得するイベント取得手段、

前記イベント取得手段により取得されたイベントの内容に応じて、前記受信手段により受信された設定ファイルを用いて、前記ウェブ会議で利用されるデータの送受信を行う複数の通信回線それぞれの回線品質を調整する制御を行う制御手段として前記情報処理装置を機能させることを特徴とするプログラム。

## 【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

そこで、本願発明は上記課題を解決するものであり、所定のイベントが発生した場合、クライアント端末においてウェブ会議で利用されるデータの送受信を行う複数の通信回線それぞれの回線品質を調整することを可能とする。

## 【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

本発明は、ウェブ会議を開催する処理を行うサーバと、ウェブ会議の参加者が操作する情報処理装置とがネットワークを介して接続されるウェブ会議システムであって、前記サーバは、予め定められた所定のイベントが発生した場合、ウェブ会議で利用されるデータの送受信を行う複数の通信回線それぞれの回線品質を前記情報処理装置において調整させるため、当該複数の通信回線それぞれの回線品質を調整可能な定義がなされた設定ファイルを登録する第一の登録手段と、前記第一の登録手段により前記設定ファイルが登録されたウェブ会議への参加要求を行った情報処理装置に対して、ウェブ会議の画面情報と、当該ウェブ会議に登録された前記設定ファイルとを送信する送信手段と、前記所定のイベントであって、前記ウェブ会議で利用されるデータの送受信を行う複数の通信回線それぞれの回線品質を調整すべきイベントを検知する検知手段と、前記検知手段により前記イベントが検知されたことに応じて、ウェブ会議に参加している情報処理装置に対して当該イベントを通知する通知手段とを有し、前記情報処理装置は、ウェブ会議の参加者の操作に従って、ウェブ会議への参加要求を行う参加要求手段と、前記送信手段により送信される、前記ウェブ会議の画面情報と、前記設定ファイルとを受信する受信手段と、前記通知手段により通知された前記イベントを取得するイベント取得手段と、前記イベント取得手段により取得されたイベントの内容に応じて、前記受信手段により受信された設定ファイルを用いて、前記ウェブ会議で利用されるデータの送受信を行う複数の通信回線それぞれの回線品質を調整する制御を行う制御手段とを有するウェブ会議システムであり、複数の前記情報処理装置がそれぞれの前記制御手段により回線品質を調整する制御を行うことを特徴とする。

## 【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

本発明によれば、所定のイベントが発生した場合、クライアント端末においてウェブ会議で利用されるデータの送受信を行う複数の通信回線それぞれの回線品質を調整することが可能となる。